

船橋市住宅用太陽光発電システム・省エネルギー設備 使用状況等まとめ
(平成 30 年度補助分)

船橋市では、平成 21 年度より要件を満たす太陽光発電システムや省エネルギー設備を設置した方を対象に設置費を一部負担する補助事業を実施しており、補助を受けられた方を対象に一定期間の発電量や電気・ガスの使用量を報告していただいております。

この報告に基づき、平成 30 年度に補助を受けられた方の使用状況をまとめました。

1 基礎情報

交付年度	平成 30 年度
補助対象設備	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム ・太陽熱利用システム ・エネファーム ・定置用リチウムイオン蓄電システム
前年度（平成 29 年度）からの 主な変更点	・地中熱利用システムが補助対象外となった
使用状況報告書提出率	48.1 %

2 使用状況結果

(1)太陽光発電システム設置による発生電力量・購入電力量の結果

①世帯あたりの年間発生電力量等

システム容量	年間発生電力量
4.27 kW	5112.5 kWh

②世帯あたりの余剰電力売電量・売電金額等

年間余剰売電量	年間売電額※	売電単価（平成 30 年度）
4125.0 kWh	107,250 円	26 円/kWh

※世帯あたりの年間余剰売電量に売電単価を乗じて得た額

③世帯あたりの年間電気購入量

設備設置前	設備設置後	削減効果（前－後）
3572.3 kWh	3104.1 kWh	468.2 kWh

④世帯あたりの年間 CO₂ 排出量の変化 【単位：kg-CO₂】

	設備設置前	設備設置後	効果
電気購入量に伴う CO ₂ 排出量 (α)	1671.8	1452.7	219.1 減少
売電量に伴う CO ₂ 削減量 (β)	—	1930.5	1930.5 減少
合計 (α-β)	1671.8	-477.8	2149.6 減少

排出係数：0.468kg-CO₂/kWh (平成 30 年度の東京電力エナジーパートナー(株)の基礎排出係数)

(2)エネファーム設置による購入電力量・使用(購入)ガス量の結果

①世帯あたりの年間電気購入量

設備設置前	設備設置後	削減効果(前-後)
5561.4 kWh	3325.1 kWh	2236.3 kWh

②世帯あたりの年間ガス購入(使用)量

設備設置前	設備設置後	削減効果(前-後)
785.7 m ³	994.8 m ³	-209.1 m ³

③世帯あたりの年間 CO₂ 排出量の変化 【単位：kg-CO₂】

	設備設置前	設備設置後	効果
電気購入量に伴う CO ₂ 排出量 (α)	2602.7	1556.1	1046.6 減少
ガス購入量に伴う CO ₂ 排出量 (β)	1736.4	2198.6	462.2 増加
合計 (α+β)	4339.1	3754.7	584.4 減少

排出係数：2.21kg-CO₂/m³ (都市ガスの CO₂ 排出係数)

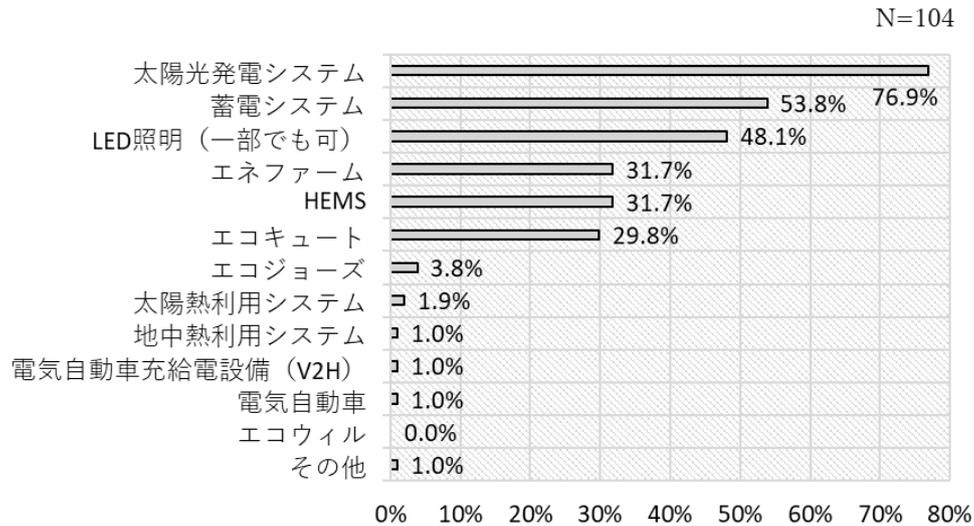
【参考】

・平成 30 年度家庭からの CO₂ 排出量・・・約 4,150kg-CO₂

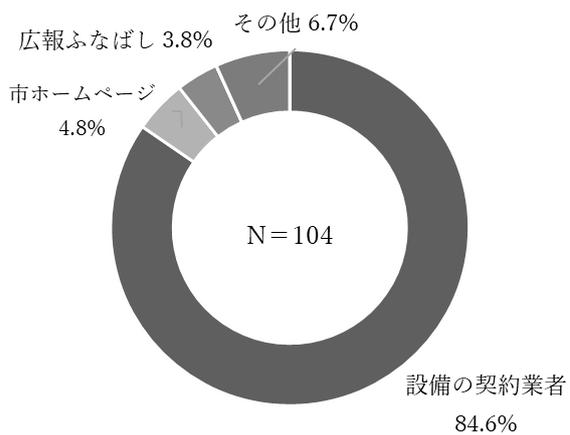
(出典：温室効果ガスインベントリオフィス)

③ アンケート結果

1. 住宅に導入されている省エネルギー設備等（補助金交付の有無にかかわらず） （複数回答可）



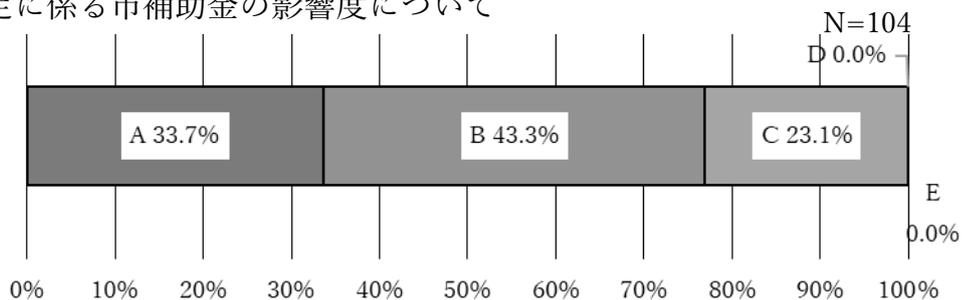
2. 補助制度を知った手段について



広報媒体等	数	%
設備の契約業者	88	84.6%
市ホームページ	5	4.8%
広報ふなばし	4	3.8%
市内各出張所	0	0.0%
船橋駅前総合窓口センター	0	0.0%
市以外のホームページ	0	0.0%
その他	7	6.7%
未回答	0	0.0%

その他：ハウスメーカー

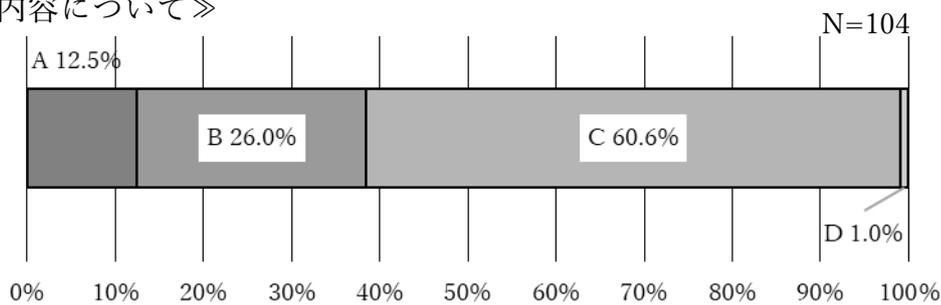
3. 導入決定に係る市補助金の影響度について



	数	%
A 大いに影響を与えた	35	33.7%
B 影響を与えた	45	43.3%
C 影響はなかった（補助金がないでも導入するつもりだった）	24	23.1%
D その他	0	0.0%
E 未回答	0	0.0%

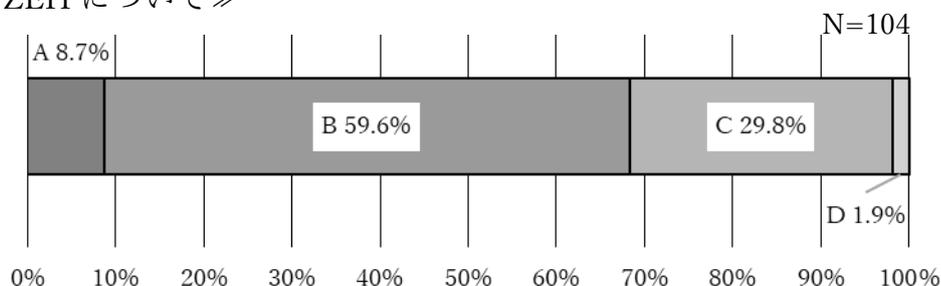
4. 「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」について

《名称や内容について》



	数	%
A 名称や内容も知っていた	13	12.5%
B 名称は聞いたことがあるが、詳しい内容は知らなかった	27	26.0%
C 知らなかった	63	60.6%
D 未回答	1	1.0%

《自宅の ZEH について》



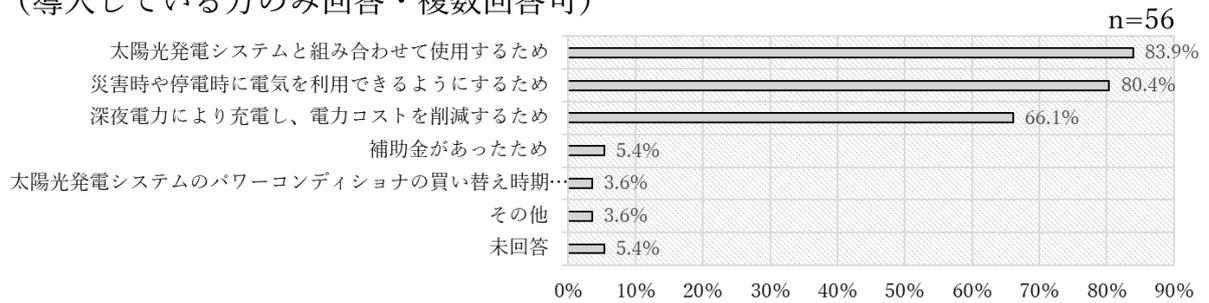
	数	%
A 自宅はZEHである	9	8.7%
B 自宅はZEHではない	62	59.6%
C わからない	31	29.8%
D 未回答	2	1.9%

5. HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）を導入したことによる日常生活等での変化について（導入している方のみ回答・複数回答可）



	数	%
モニターなどを定期的に確認し、節電に取り組むようになった	23	69.7%
他の設備と組み合わせることで、その設備の効果をより実感できるようになった	12	36.4%
外出先等からスマートフォンなどで使用量の確認や操作を行うようになった	5	15.2%
特に変化はない	5	15.2%
家電等のON・OFFなどができるようになり、生活が便利になった	1	3.0%
その他	0	0.0%
未回答	7	21.2%

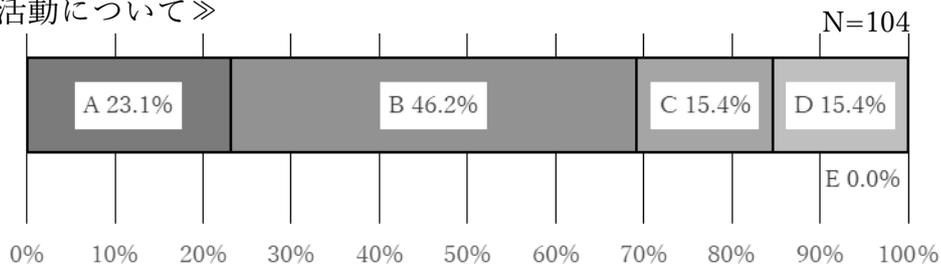
6. 定置用リチウムイオン蓄電システムを導入した理由について
(導入している方のみ回答・複数回答可)



	数	%
太陽光発電システムと組み合わせて使用するため	47	83.9%
災害時や停電時に電気を利用できるようにするため	45	80.4%
深夜電力により充電し、電力コストを削減するため	37	66.1%
補助金があったため	3	5.4%
太陽光発電システムのパワーコンディショナの買い替え時期だったため (パワコン一体型のリチウムイオン蓄電池を導入したい)	2	3.6%
その他	2	3.6%
未回答	3	5.4%

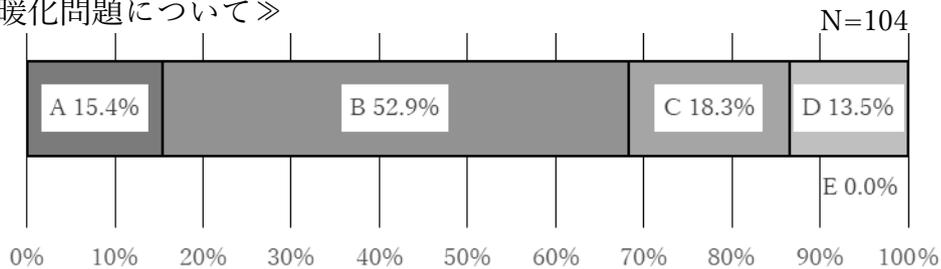
7. 設備導入による意識変化について

《省エネ活動について》



	数	%
A より取り組むようになった	24	23.1%
B 今までと変わらず取り組んでいる	48	46.2%
C 今まで取り組んでいなかったが、導入をきっかけに取り組んでいる	16	15.4%
D 取り組んでいない	16	15.4%
E 未回答	0	0.0%

《地球温暖化問題について》



	数	%
A より考えるようになった	16	15.4%
B 今までと変わらず考えている	55	52.9%
C 今まで考えていなかったが、導入をきっかけに考えるようになった	19	18.3%
D 考えていない	14	13.5%
E 未回答	0	0.0%

8.自由記載（一部抜粋：原文のまま掲載）

(1)省エネや節電等についての行動

最近頻発している天変地異のことを考えると、自分の住む地域にも災害が訪れる可能性が大いにある。その時に少しでも今の生活に近い状態を保つことが出来るシステムとして導入した。また、原発に頼らないための再生可能エネルギーは地球環境を守る上でも、今の時代に必要だと思われる。

今の時代、大地震等災害がいつ起こるか分からない。避難場所に避難しても、そこで新型コロナウイルスに感染など不安要素が色々ある。出来れば大災害起こっても自宅で過ごせるよう太陽光発電や蓄電池を設置した。自分で自分の家族を守れるよう、これからも考えていきたい。

大切な取り組みだと思います。地球に住む人間が地球を汚していることを意識して、地球を大切にしないといけないと思います。

(2)省エネ設備についての感想や意見

蓄電池はまだまだ高額です。知り合いの方でもなかなかすぐにはという話をしています。あまり大きいパネルではないせいか、導入前ととくに電気代に大きな差がないように思える。

電力使用量の見える化の端末は、最初は興味があって見ていたが、生活リズムが安定すると不要と判断して、外してしまった。専用端末はいらないので、必要な時にスマホで確認できるようにしてほしい。

電気の買取単価が下がったため設備の設置費用が回収できなくなった。これを見直さないと省エネ設備導入は進まない。

家電メーカーも1~2年で故障するような安い電化製品を大量生産するのではなく、高くても修理しながら長く愛用できるような商品に意識を変えるべきだと思います。

すべての家庭で蓄電システムを導入できれば原子力にたよらなくても良くなり安心して暮らしていける世の中になるので早く安価になるか補助金が多くゆきわたることが出来ることを祈ります。

電気代、ガス代の合計金額が少しは元が取れるかと思ったが、トントンか、月によっては前年を上回ったので導入しなければよかった。

(3)市への要望や意見

千葉県は1年に2度の台風で停電を体験しており引き続きエネファームや蓄電池システムの導入補助をしてほしい。

もっと補助金を出して欲しい。

船橋市は鳩が多い地域と設置後に聞きました。実際に鳩の被害にあい追加費用がかかり高額なのでそちらの補助もあるとありがたいです。